

ニューラウンドフェンス NR-4型 (ダイヤモンドフェンス NR-DY型) H800~H2000

組立説明書

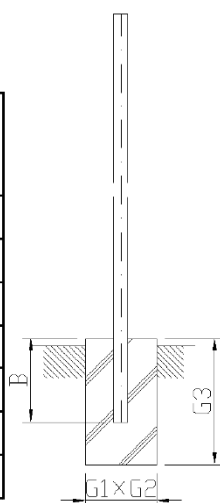
①柱の位置を決め、基礎を設置します。

●柱間隔は柱芯々2000mmピッチで正確に施工してください。

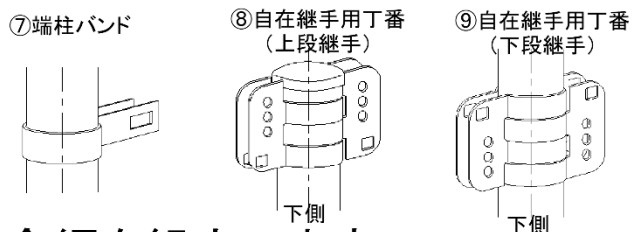
②柱を建てます。

●基礎寸法及び埋め込み深さ

型式	基礎寸法 G1×G2×G3(mm)			埋込寸法 B(mm)
	NR-4型		NR-DY型	
	菱形金網 Φ3.2×50mm目	菱形金網 Φ3.2×40mm目	ダイヤモンド金網	
H800	180×180×450	180×180×450	—	200
H900	180×180×450	180×180×450	—	200
H1000	180×180×450	180×180×450	—	200
H1200	180×180×450	180×180×450	180×180×450	200
H1500	180×180×450	180×180×450	180×180×450	250
H1800	200×200×450	250×250×450	250×250×450	300
H2000	250×250×450	250×250×500	—	300

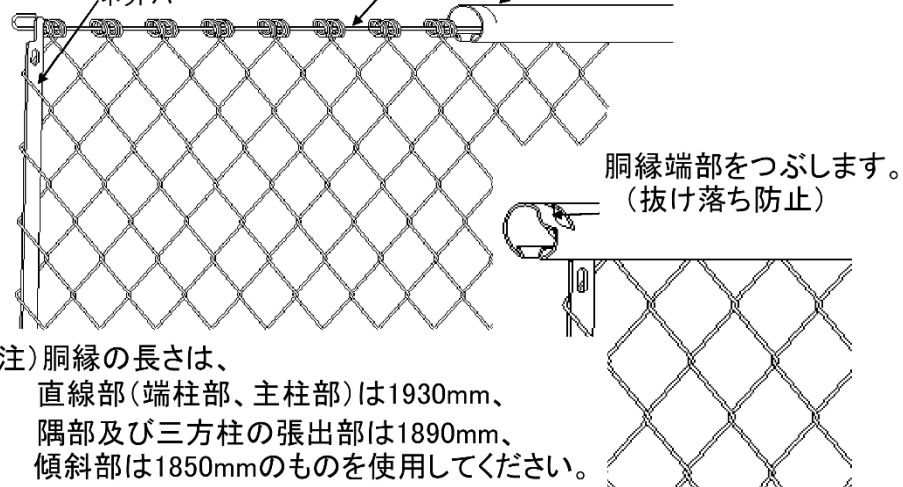


注)・端柱、隅柱、傾斜柱、三方柱には、柱バンドをあらかじめ先に挿入しておきます。また、隅柱、傾斜柱には自在継手丁番も挿入しておきます。(挿入順番があります。)
・自在継手用丁番は下図のように、上下の区別があります。



③金網を組立てます。

- 金網を広げ、上下カール部に通し線を通します。
(全て通した後、両端は折り返します。)
- 金網の両端にネットバーを通します。
(切欠き側を上向きかつ外側へ向けます。)
- 胴縁を金網カール部に挿入します。
(水抜き孔のあいている胴縁を下側にします。)
- 上胴縁の両端スリット部にシノを差し込み両端を押し下げ、つぶします。

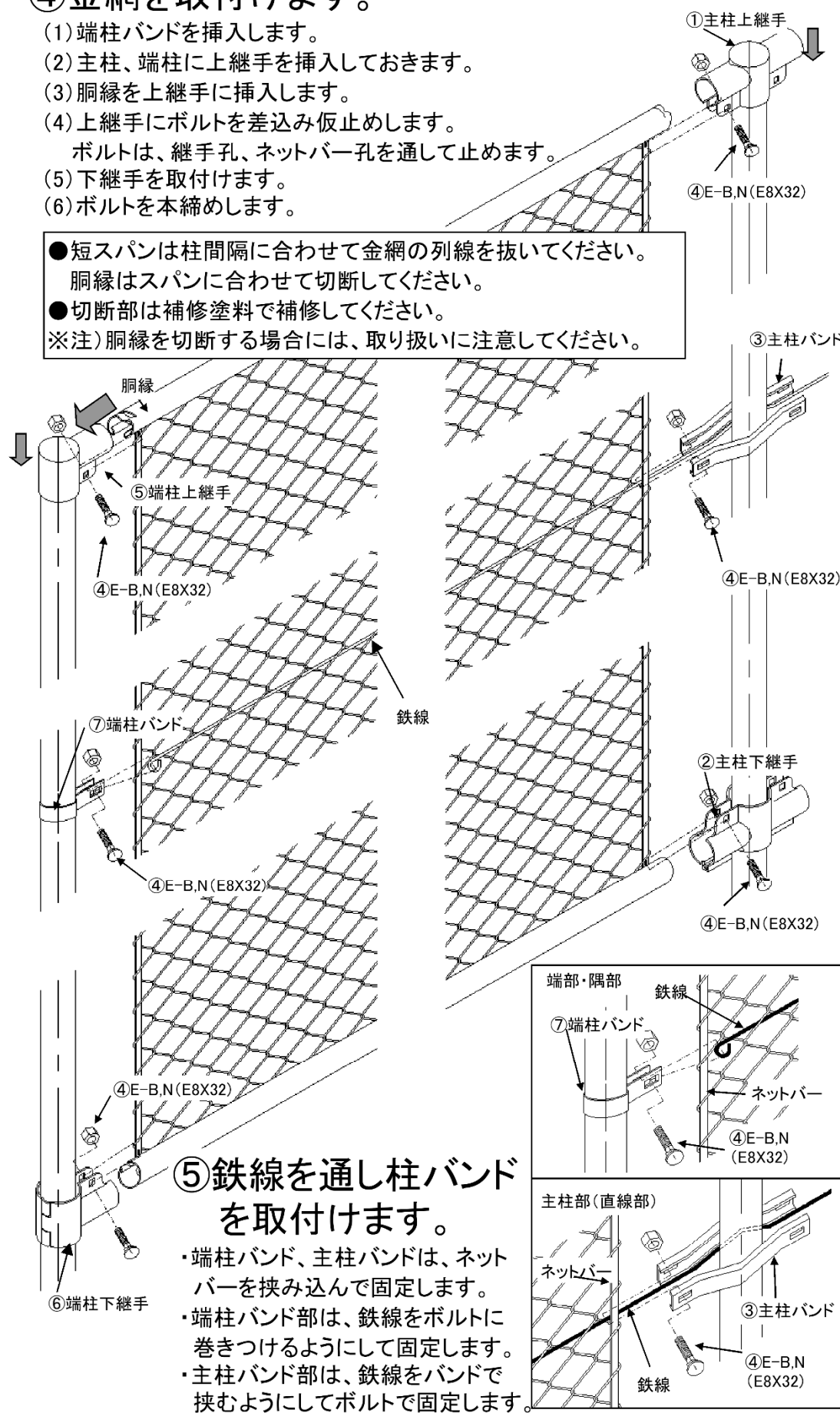


注) 胴縁の長さは、直線部(端柱部、支柱部)は1930mm、隅部及び三方柱の張出部は1890mm、傾斜部は1850mmのものを使用してください。

④金網を取付けます。

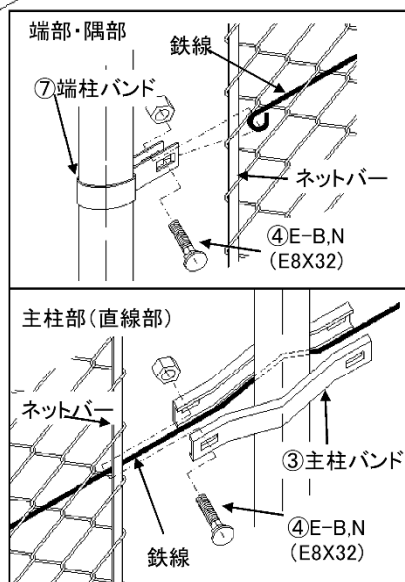
- 端柱バンドを挿入します。
- 支柱、端柱に上継手を挿入しておきます。
- 胴縁を上継手に挿入します。
- 上継手にボルトを差込み仮止めします。
ボルトは、継手孔、ネットバー孔を通して止めます。
- 下継手を取付けます。
- ボルトを本締めします。

- 短スパンは柱間隔に合わせて金網の列線を抜いてください。胴縁はスパンに合わせて切断してください。
- 切断部は補修塗料で補修してください。
- ※注) 胴縁を切断する場合には、取り扱いに注意してください。



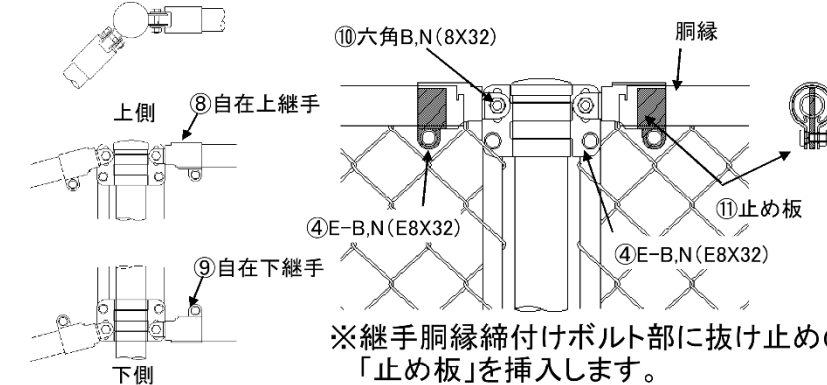
⑤鉄線を通し柱バンドを取付けます。

- ・端柱バンド、支柱バンドは、ネットバーを挟み込んで固定します。
- ・端柱バンド部は、鉄線をボルトに巻きつけるようにして固定します。
- ・支柱バンド部は、鉄線をバンドで挟むようにしてボルトで固定します。



隅部 (片方の柱に自在継手を使用する場合)

胴縁は長さ1890mmのものを使用してください。



傾斜部 (両方の柱に自在継手を使用する場合)

胴縁は長さ1850mmのものを使用してください。

- 金網は下表を参照ください。NR-DY型の場合は、別途ご相談ください
- NR-4型用の傾斜用金網の列線は10°を基準にセットしております。
- 傾斜角度が大きい場合は、列線を外して、幅の調整をしてください。

傾斜角	使用する金網	
	NR-4型	NR-DY型
平坦部(0°)	一般用金網(NR)	別途、ご相談下さい
1°未満		
2°以上		
10°未満	傾斜用金網(NR)	
10°以上		
20°未満		
20°以上	適用不可	
35°未満		
35°以上		

傾斜用金網(NR)

傾斜用カール直線本数(NR)

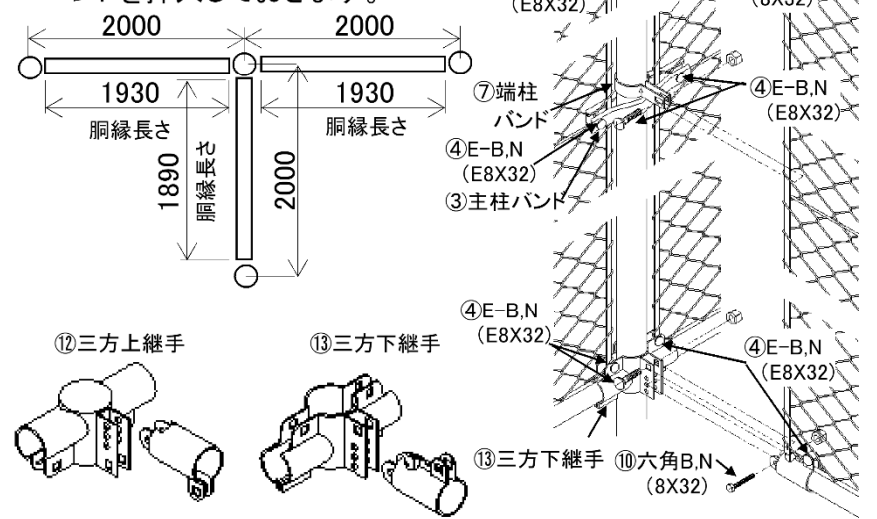
56mm目	24本
50mm目	29本
40mm目	34本

三方部

※各網目(56mm目、50mm目、40mm目)共通

胴縁の長さは、直線部1930mm、張出部1890mmのものを使用してください。

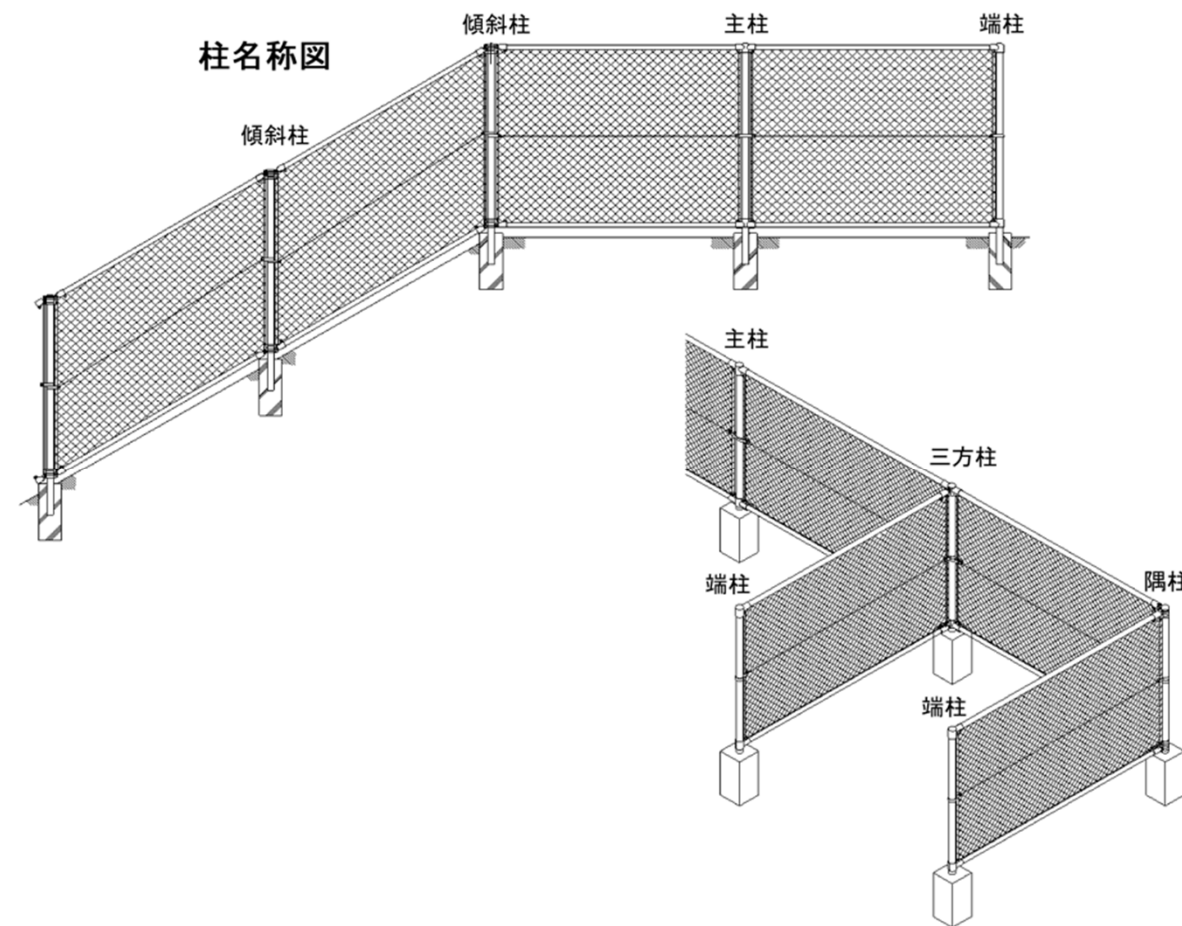
- 組立は直線部を先に行い、その後、張出部を組立てます。
- 注) 直線部の組立の際、あらかじめ端柱バンドを挿入しておきます。



部品数量表

ニューラウンドフェンス NR-4型 (ダイヤモンドフェンス NR-DY型) H800~H2000

品名	寸法・記号	形状	数量							
			H800	H900	H1000	H1200	H1500	H1800	H2000	
主柱部品	① 主柱上継手	4R50X160X2		1	1	1	1	1	1	1
	② 主柱下継手	4R50X160X2		1	1	1	1	1	1	1
	③ 柱バンド	R50X155X2		1	1	1	1	1	2	2
	④ E-B,N	E8X32		6	6	6	6	6	8	8
端柱部品	⑤ 端柱上継手	4R50X80X2		1	1	1	1	1	1	1
	⑥ 端柱下継手	4R50X80X2		1	1	1	1	1	1	1
	⑦ 端柱バンド	50X77C		1	1	1	1	1	2	2
	④ E-B,N	E8X32		3	3	3	3	3	4	4
隅柱・傾斜柱部品	⑧ 自在上継手	4R50X220X2		1	1	1	1	1	1	1
	⑨ 自在下継手	4R50X220X2		1	1	1	1	1	1	1
	⑦ 端柱バンド	50X77C		2	2	2	2	2	4	4
	④ E-B,N	E8X32		10	10	10	10	10	12	12
	⑩ 六角B,N	8X32		4	4	4	4	4	4	4
	⑪ 止め板	59X30X4.5		2	2	2	2	2	2	2
三方柱部品	⑫ 三方上継手	4R50X220X2		1	1	1	1	1	1	1
	⑬ 三方下継手	4R50X220X2		1	1	1	1	1	1	1
	③ 柱バンド	R50X155X2		1	1	1	1	1	2	2
	⑦ 端柱バンド	50X77C		1	1	1	1	1	2	2
	④ E-B,N	E8X32		11	11	11	11	11	14	14
	⑩ 六角B,N	8X32		2	2	2	2	2	2	2
	⑪ 止め板	59X30X4.5		1	1	1	1	1	1	1



⚠ 注意

● 施工注意点

- ① 商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ② 基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30 mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③ 施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④ 組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤ 塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

● 取扱い注意点

- ① 標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。

ニューラウンドフェンス NR-4型 H2500~H10000

組立説明書

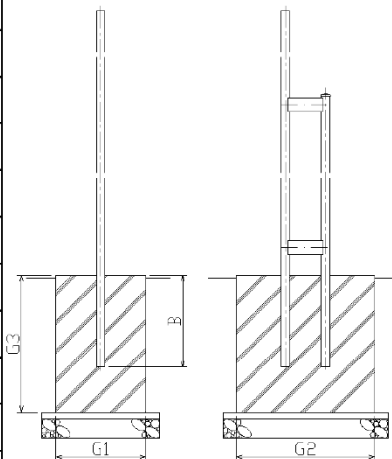
①柱の位置を決め、基礎を設置します。

- 柱間隔は柱芯々2000mmピッチで正確に割付けてください。
- 通り芯を正確に出してください。

②柱を建てます。

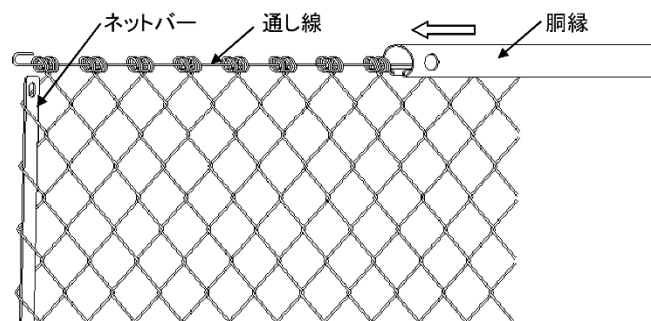
- 基礎寸法及び埋め込み深さ

寸法 型式	基礎寸法 G1×G2×G3(mm)		埋込寸法 B(mm)
	菱形金網φ3.2×50mm目	菱形金網φ3.2×40mm目	
H2500	300×300×500	300×300×600	350
H3000	300×300×600	350×350×600	350
H3500	400×400×600	400×400×650	400
H4000	500×500×800	500×500×900	400
H4000 (隔本控)	400×400×750 400×750×750	400×400×800 400×1000×800	630
H5000 (控付)	700×900×850	650×1000×1000	670
H6000 (控付)	650×1000×1050	950×1000×1000	700
H7000 (控付)	950×1000×1050	1000×1200×1000	700
H8000 (控付)	1000×1200×1050	1000×1300×1200	700
H9000 (控付)	1000×1300×1250	1000×1500×1300	900
H10000 (控付)	1000×1500×1350	1000×1800×1400	900



③菱形金網を組み立てます。

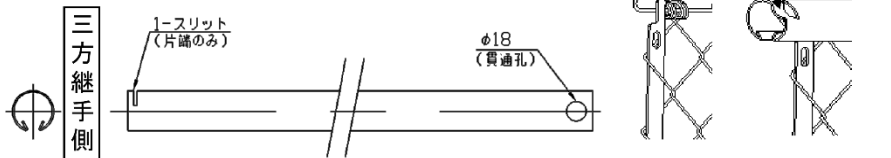
- (1)金網を広げ、上下カール部に通し線を通します。
(全て通した後、両端は折り返します。)
- (2)金網の両端にネットバーを通します。
- (3)胴縁を金網カール部に挿入します。



注) 胴縁長さは、直線部(端柱部、主柱部)は1930mm、
隅部は1898mm、
傾斜部は1860mmのものを使用してください。

注) 三方柱(H3500まで)張出部の胴縁長さは1890mmのものを使用してください。

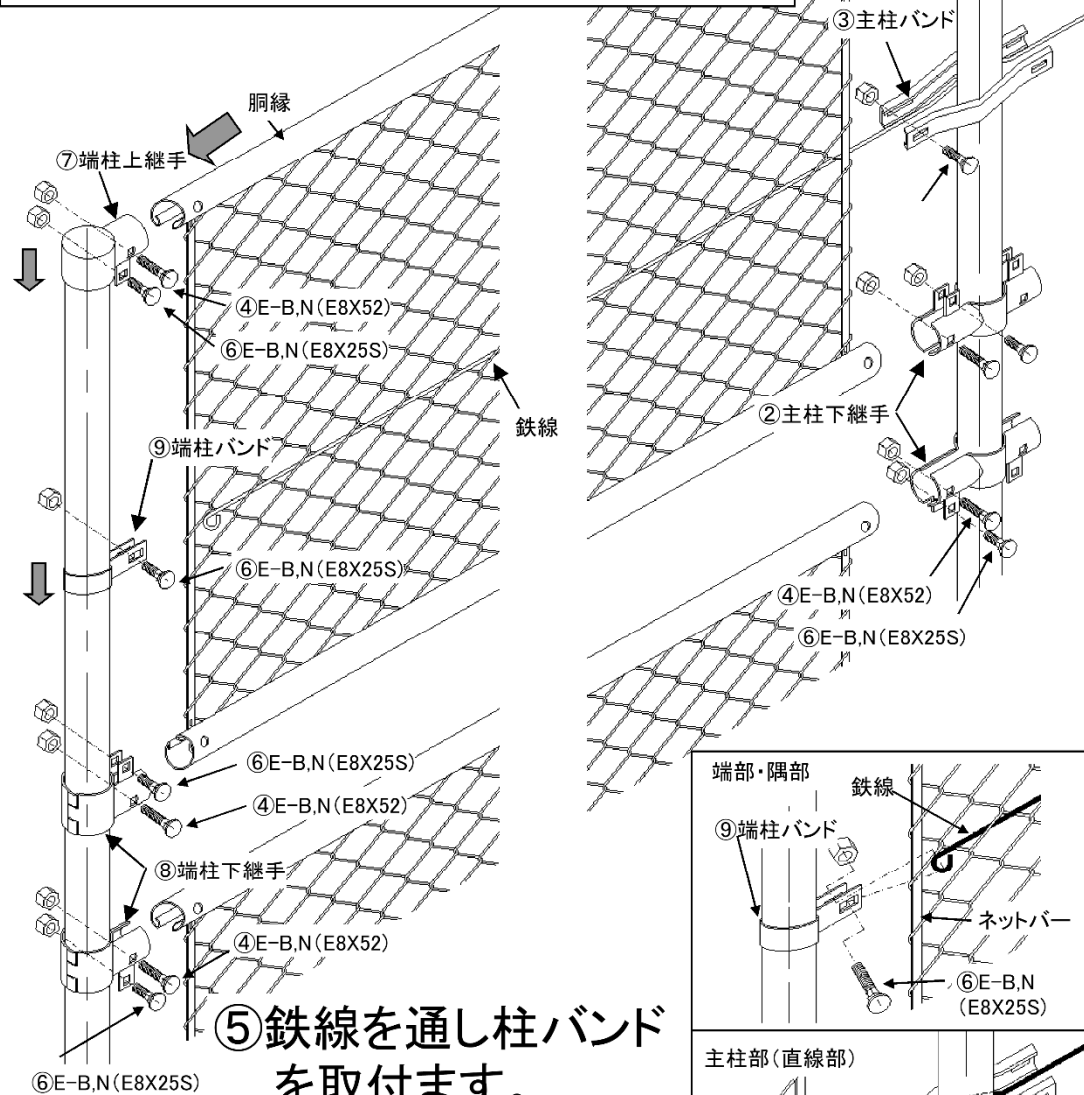
- ・スリットがある方を三方継手側で使用します 三方張出部用ネットバー
- ・ネットバーは三方張出部用を使用します。
- ・スリットは、金網に挿入後、シノ等でつぶします



④金網を取付けます。

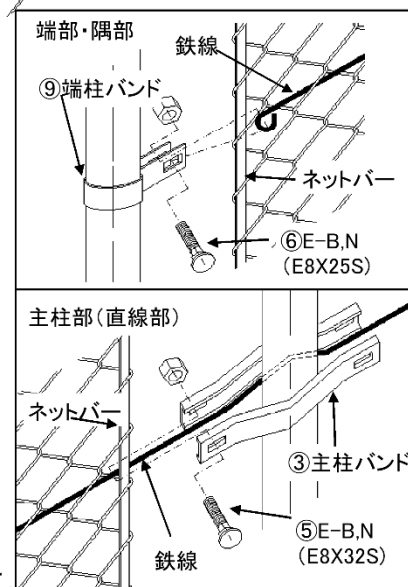
- (1)端柱に端柱バンドを挿入します。
- (2)主柱、端柱に上継手を挿入しておきます。
- (3)胴縁を上継手に挿入し、仮止めします。
ボルトは、継手孔、胴縁孔を通して止めます。
- (4)上継手にネットバーを差込み仮止めします。
ボルトは、継手孔、ネットバー孔を通して止めます。
- (5)下継手を取付けます。
- (6)ボルトを本締めします。

- 短スパンは柱間隔に合わせて金網の列線を抜いてください。
 - 胴縁はスパンに合せて切断してください。
 - 切断部は補修塗料で補修してください。
- 注) 胴縁を切断する場合には、取り扱いに注意してください。



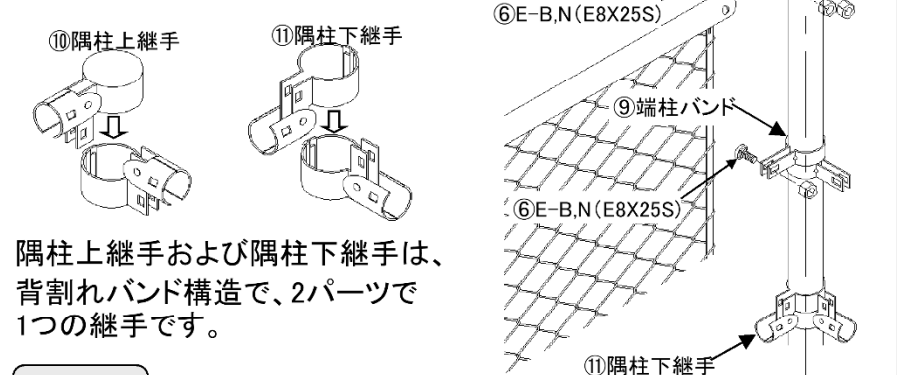
⑤鉄線を通し柱バンドを取付けます。

- ・端柱バンド、主柱バンドは、ネットバーを挟み込んで固定します。
- ・端柱バンド部は、鉄線をボルトに巻きつけるようにして固定します。
- ・主柱バンド部は、鉄線をバンドで挟むようにしてボルトで固定します。



隅部 (片方の柱に隅柱継手を使用する場合)

胴縁は長さ1898mmのものを使用してください。
※あらかじめ隅柱に端柱バンドを挿入します。



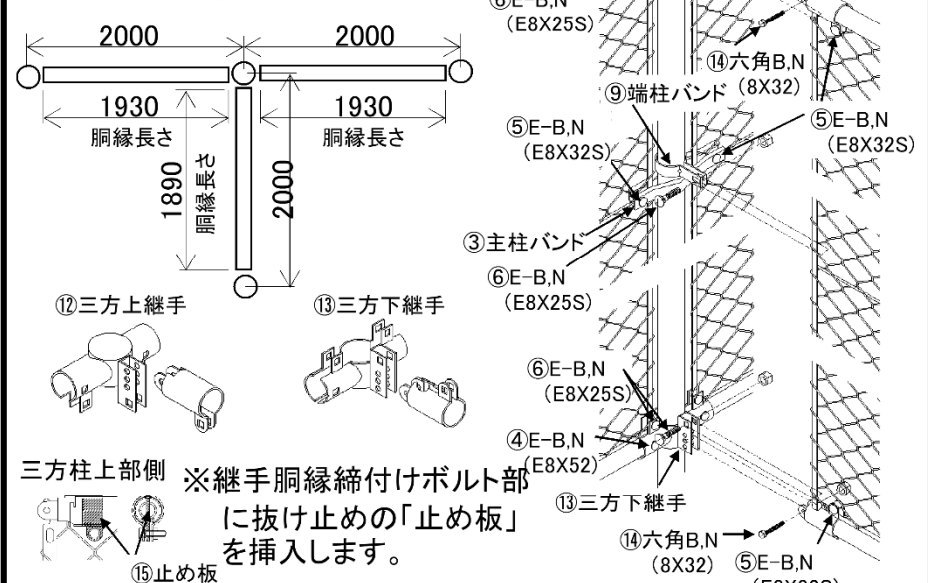
傾斜部 (両方の柱に隅柱継手を使用する場合)

胴縁は長さ1860mmのものを使用してください。
組立は、隅部と同様です。

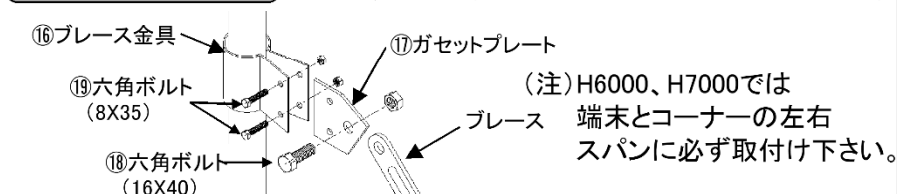
三方部 (H3500まで対応可能です。)

胴縁の長さは直線部1930mm、張出部1890mmのものを使用してください。
組立は、直線部を先に行い、その後、張出部を組立てます。

注) 直線部の組立の際、先に端柱バンドをあらかじめ挿入しておきます。



ブレース取付部 H6000、H7000は1スパン毎に取付けます。H8000、H9000、H10000は全スパンに取付けます

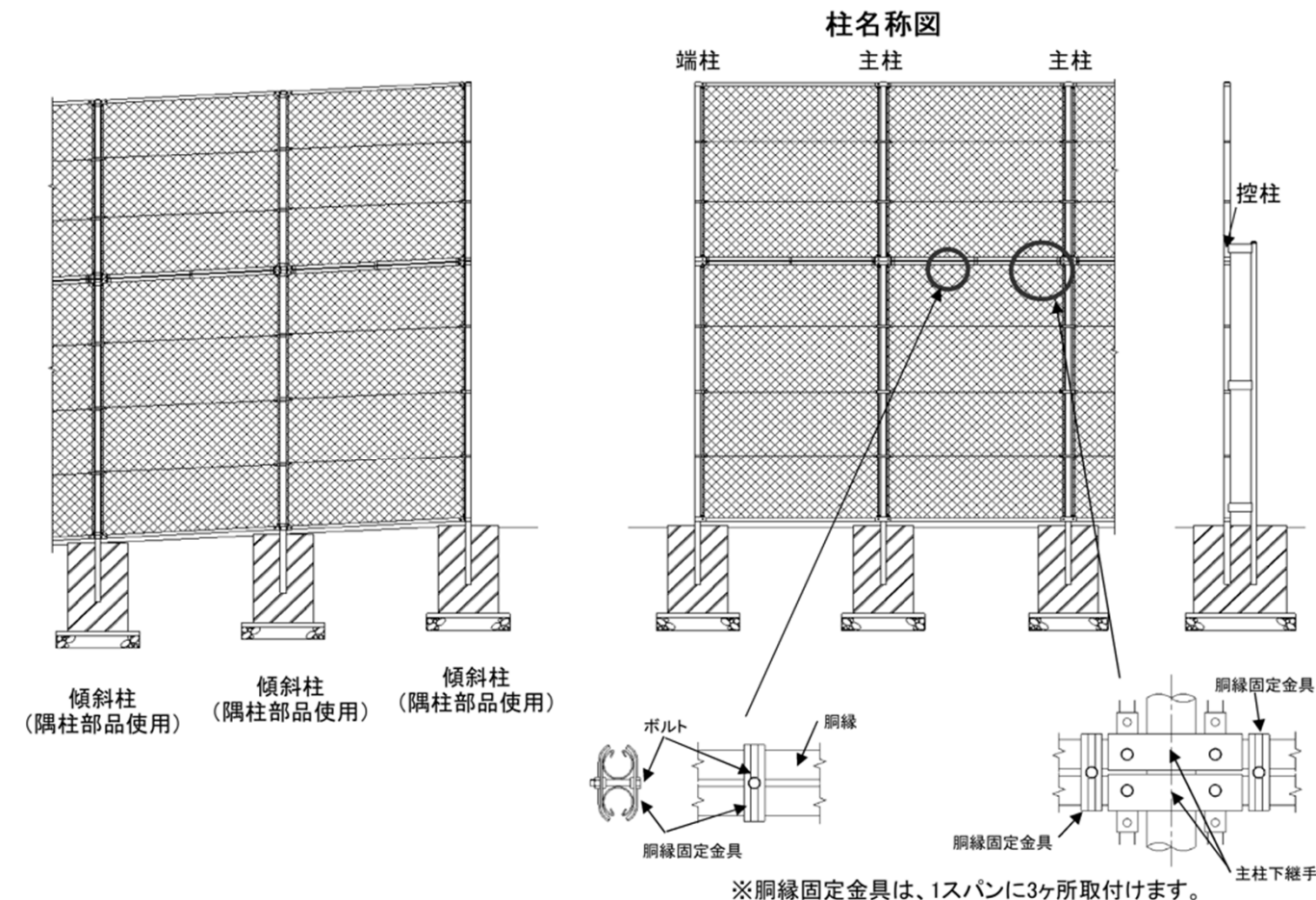


胴縁固定金具 多段フェンスの場合は、上下フェンス間に胴縁固定金具を取付けます。※次項の柱名称図を参照

部品数量表

ニューラウンドフェンス NR-4型 H2500~H10000

品名	寸法・記号	形状	数量											
			H2500	H3000	H3500	H4000	H4000 2段	H5000 2段	H6000 2段	H7000 3段	H8000 3段	H9000 3段	H10000 4段	
主柱部品	① 主柱上継手	R170X60		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	② 主柱下継手	R170X60X2		1	1	1	1	3	3	3	5	5	5	7
	③ 柱バンド	R60X165X2		2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10
	④ E-B,N	E8X52		4	4	4	4	8	8	8	12	12	12	16
	⑤ E-B,N	E8X32S		4	6	8	10	8	10	12	14	16	18	20
	⑥ E-B,N	E8X25S		4	4	4	4	8	8	8	12	12	12	16
端柱部品	⑦ 端柱上継手	R115X60		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	⑧ 端柱下継手	R115X60X2		1	1	1	1	3	3	3	5	5	5	7
	⑨ 端柱バンド	60X82C		2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10
	④ E-B,N	E8X52		2	2	2	2	4	4	4	6	6	6	8
	⑥ E-B,N	E8X25S		4	5	6	7	8	9	10	13	14	15	18
	隅柱部品	⑩ 隅柱上継手	R135X60		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑪ 隅柱下継手		R135X60X2		1	1	1	1	3	3	3	5	5	5	7
⑨ 端柱バンド		60X82C		4	6	8	10	8	10	12	14	16	18	20
④ E-B,N		E8X52		4	4	4	4	8	8	8	12	12	12	16
⑥ E-B,N		E8X25S		8	10	12	14	16	18	20	26	28	30	36
三方柱部品		⑫ 三方上継手	R170X60X38		1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	⑬ 三方下継手	R170X60X38X2		1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	③ 柱バンド	R60X165X2		2	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑨ 端柱バンド	60X82C		2	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	④ E-B,N	E8X52		4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑤ E-B,N	E8X32S		6	8	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑥ E-B,N	E8X25S		8	9	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑭ 六角B,N	8X32		2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
ブレース	⑮ 止め板	59X30X4.5		1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑯ プレース金具	R90X60X2		-	-	-	-	-	4	4	4	4	4	4
	⑰ ガセットプレート	4.5X100X90		-	-	-	-	-	4	4	4	4	4	4
	⑱ 六角B,N	16X40		-	-	-	-	-	4	4	4	4	4	4
	⑲ 六角B,N	8X35		-	-	-	-	-	8	8	8	8	8	8



注意

- **施工注意点**
 - ① 商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
 - ② 基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30 mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がった埋まったりしないようにしてください。
 - ③ 施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
 - ④ 組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
 - ⑤ 塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)
- **取扱い注意点**
 - ① 標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。